

都市ブランド形成推進事業総括

東大阪市 都市ブランド形成推進事業
2017-2019

ブランディングコンセプトワーク

プロモーション
(情報デザイン)

映像・SNS媒体

紙媒体

シンポジウム

拠点作り
(空間デザイン)

スタートアップ
プロジェクト

ネットワーク
プラットフォーム構築

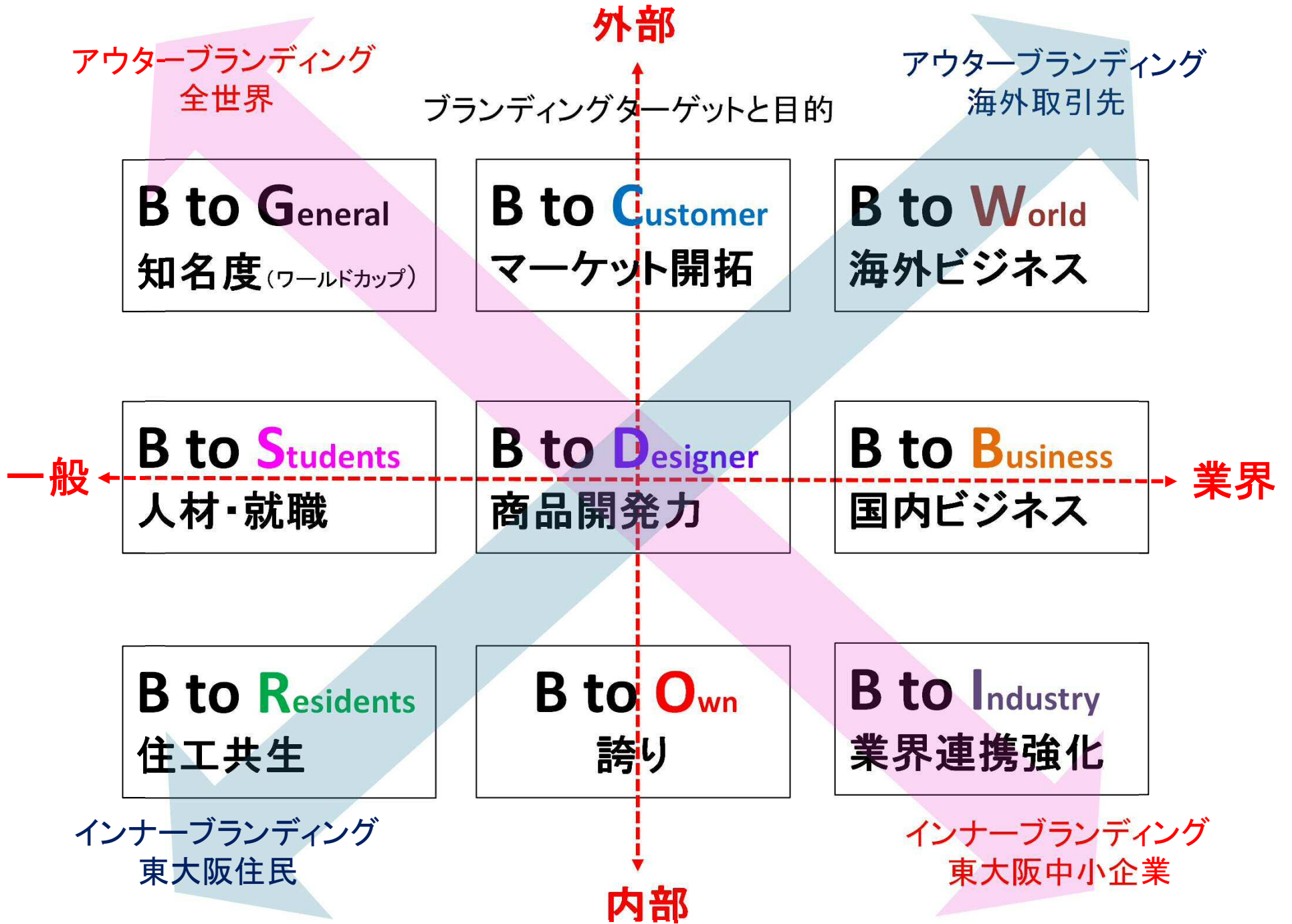
試作工房リニューアル

施策展開
(体験デザイン)

展示会出展
コンテンツ制作

アピールギフト作り

サポートイベント



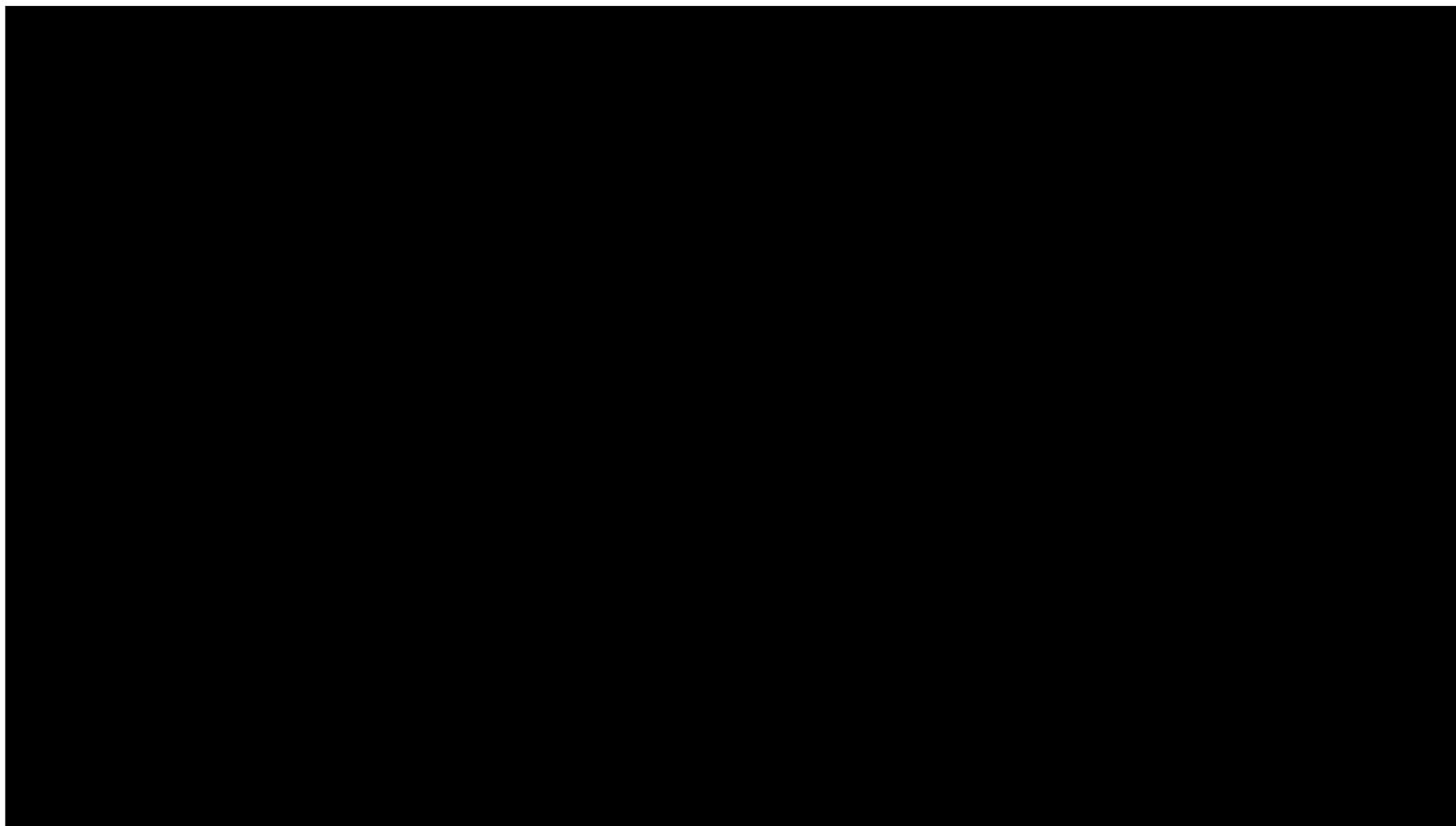
平成29年度

- 都市ブランドアンケート
- 東大阪フォント制作
- 東大阪都市表象作品制作
- LINEスタンプ制作
- シンポジウム開催

東大阪フォント

A B C D E F G H I J K L M N
O P Q R S S T U V W X Y Z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ?) (/ , ; : : _ -

東大阪市都市表象



東大阪市オリジナル LINEスタンプ

部品が世界をつないでる。



近畿大学文芸学部文化デザイン学科2回生 寺田くれは作

平成30年度

- タグライン制作
- 東大阪フォントPR映像制作
- 東大阪PR映像制作
- オープンファクトリー開催
- モノづくり試作工房リニューアル
- スタートアッププロトタイプ制作
- シンポジウム開催

タグライン制作

MONOZKURI CITY

HIGASHI-HOSAIKA

WHERE THE ANSWER IS

東大阪フォントプロモーション映像



東大阪市PR映像



都市ブランディングシンポジウム

2017 都市の「声」をデザインする
コントラプンクト+小松正史+野田義和



2018 東大阪市のモノづくりの歴史と
アイデンティティを考える
秋山浩三+網 伸也+河内俊之



C - 2 - 3

金型ギャラリー





After



スタートアップ
プロトタイププロジェクト

平成31年・令和元年度

- 冊子作製
- メディア向け記事の発信
- 東大阪フォントの庁外での利用解禁



HIGASHIOSAKA (2018)

Collaboration: Higashiosaka City Council
 Designers: Bo Linemann, Torsten Lindt, Andersson, Rasmus Michalik

東大阪市がラグビーワールドカップのタイミングで「モノづくりのまち東大阪」を海外に発信するために、近畿大学とコントラクトが協賛して制作したカスタムタイプフェイス。企業城下町ではなく、中小規模の町工場が水平的に協賛してモノづくりをすすめている様子を「つながる」書体で表現している。行政が公式に使用する書体として日本初のものとなる。

「すべての文字が、前後の文字の組み合わせにより、それぞれ新しく独自のカタチでつながる書体。企画同士が協議してモノづくりを行う、東大阪市の製造業の独特な形態を表現している。テクノロジーとデザインが有機的に交差するデザインを具現化した。」

- ボー・リンネマン

The city Higashiosaka is known for having the highest density of small-to-medium-sized producers in Japan, but also known for its culture of mutual collaborations. Using OpenType features the Higashiosaka typeface explores the automatic choice of glyph alternates with reference to an adjacent character. Higashiosaka is the first official typeface which public administration approved and used.

"The typeface connects every letter and word in a new and unique way, showcasing how the city of Higashiosaka works - by connecting cultures and businesses. The design is an experimental intersection between technology and design."

- Bo Linemann

Shiseido

Collaboration: Nippon Design Center of Japan
 Designers: Bo Linemann, Philip Linemann, Torsten Lindt, Andersson, Rasmus Michalik

グンズラーや原研哉、Nendoなど世界的なデザイナーや建築家が関わる異業種の新しい施設「異業種グローバルイノベーションセンター<S/PARK>」のためのビスパーク・タイプフェイス。その名の通り「スパーク（火花を散らす）」するようなイメージでデザインされ、エネルギーに溢れ、革新と創造性を持つ会社同センターを体現している。

「装置に細節を検討しながら同時に、ランダムな印象も与えるよう、複数の字体を組み、文脈によってそれを変化させることで、スパークする活気を表現した。現代的で未来志向のデザインのなかに、異業種書体に代表される異業種の伝統にしっかりと根付いている。」

- フィリップ・リンネマン

The Shiseido Global Innovation Center, also dubbed S/PARK, includes work by world-renowned designers and architects such as Gunzler, Kajima and Nendo. The Shiseido SPARK typeface is an energetic and encompasses innovation and creativity, just like the Shiseido Innovation Center itself. "The typeface has a range of alternate characters which can carefully, but seemingly can do only, be used to provoke sparks in writing. The typeface is contemporary and forward-thinking but has solid roots in the old Shiseido heritage."

- Philip Linemann

